

豊中市立文化芸術センター

プレスリリース

ウラディーミル&ヴォフカ アシュケナージ ピアノ・デュオ



日時：2019年5月19日（日）

会場：豊中市立文化芸術センター 大ホール

出演：ウラディーミル・アシュケナージ、ヴォフカ・アシュケナージ

【曲目】 シューベルト：幻想曲 D.940

ブラームス：ワルツ集 作品 39

ラヴェル：ラ・ヴァルス

ラフマニノフ：組曲 第1番《幻想的絵画》 他

【本リリースに関するお問合せ先】 豊中市立文化芸術センター（豊中市市民ホール指定管理者） 担当：井上

電話：06-6864-3901（代表 | 9:00～20:00 | 月曜休館）

FAX：06-6863-0191 E-mail：info-bungei@toyonaka-hall.jp

豊中市立文化芸術センター

プレスリリース

稀代の^{アーティスト}芸術家たちが作り出す、究極の音楽。

80歳を超えてもなお世界を飛びまわるウラディーミル・アシュケナージが、開館して3年目を迎える豊中市立文化芸術センターのステージに立ちます。



全国各地で絶賛された2016年の来日公演から3年。2019年、待望の日本ツアーが決定しました。その唯一の関西公演が2017年にオープンした「豊中市立文化芸術センター」です。大阪府内産の木で囲まれた温かみのある大ホールは、時間経過とともにその響きが熟してきました。

この舞台に、世界で最も有名なアーティストの一人であり、80歳を超えた今も精力的に活動を続けるウラディーミル・アシュケナージが満を持して立ちます。

ウラディーミル・アシュケナージは、今や説明不要アーティストです。日本では、2004-2007年にNHK交響楽団の音楽監督をつとめ、2018年は指揮者としてアイスランド交響楽団×辻井伸行との共演で日本全国を駆け巡りました。そして、2019年は息子でありピアニストのヴォフカ・アシュケナージとともに4度目となるピアノ・デュオでの日本ツアーを行います。

注目のプログラムは、自身が献身的に取り組むラフマニノフから組曲 第1番《幻想的絵画》、そして、ラヴェルの人気作《ラ・ヴァルス》も聴き逃がせません。

大ホールのゆったりとしたシートでたっぷり味わう親子ならではの絶妙なアンサンブル。世界最高峰のピアニストが響かせる、2台のスタインウェイピアノから溢れ出る極上の音色。今後語り継がれる事間違いなしの本公演を、どうぞお楽しみください。

豊中市立文化芸術センター

プレスリリース

世界的アーティスト、豊中^{きた}に来る。



2017年1月のグランドオープンから、豊中市立文化芸術センターでは、指定管理者の一員でもある日本センチュリー交響楽団による「豊中名曲シリーズ」や「仲道郁代ピアノリサイタル」、「ザ・キングズ・シンガーズ」「ヤノシュ・オレイニチャク ピアノリサイタル」などのクラシック公演をおこなってまいりました。また「作曲家・加藤昌則のここから始まるクラシック」や毎年春に実施する「こどもクラシックの日」など、普及啓発型のクラシック事業も実施し、潜在的なクラシックファンが多い豊中市の文化拠点として様々なクラシック音楽事業を展開してまいりました。木々に囲まれた特徴的な大ホールは、クラシック音楽をゆったりと聴く事のできる造りとなっており好評をいただいております。

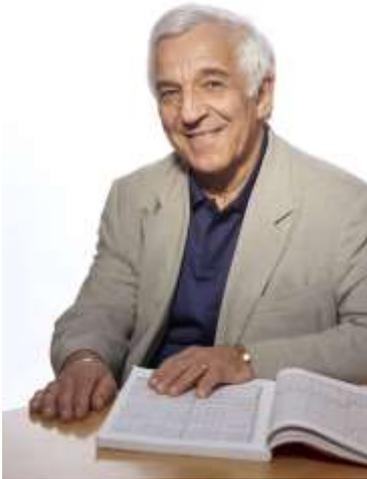
さて、実は豊中市立文化芸術センターとウラディーミル・アシュケナージには、少しだけ縁があります。2016年9月。同年10月の柿落とし公演、そして2017年1月のグランドオープンにむけて着々と準備を進める豊中市立文化芸術センターにウラディーミル・アシュケナージが来館しているのです。その時は、別のツアーで日本に滞在されていた中で立ち寄っていただき、出来上がったばかりの大ホールで、入ったばかりの新しいピアノを試弾されました。

あれから、2年半。オープン当初よりもさらに響きが熟した大ホールで、ついに世界的なアーティストの音が広がります。関西では唯一の公演。ぜひ、ご来場ください。

豊中市立文化芸術センター

プレスリリース

ウラディーミル・アシュケナージ Vladimir Ashkenazy



©Keith Saunders

1955年ショパン・コンクールにて世界にその名を知らしめて以来、ウラディーミル・アシュケナージは、ピアニストとして傑出したキャリアを誇るだけでなく、アーティストとして多彩な活動を積極的に展開し、世界の音楽愛好家に感動を与え続けている。クリーヴランド管弦楽団首席指揮者、ベルリン・ドイツ交響楽団首席指揮者・音楽監督、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、NHK交響楽団の音楽監督を歴任、2009年1月よりシドニー交響楽団の首席指揮者・音楽アドバイザーに就任。また、桂冠指揮者を務めるフィルハーモニア管弦楽団、NHK交響楽団、アイスランド交響楽団や、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、サンフランシスコ交響楽団などの指揮台に定期的に登場している。またEUユース・オーケストラの音楽監督も務め後進の育成にも力を注いでいる。ピアニストとしてのアシュケナージは、舞台を主にレコーディング・スタジオに移して、1999年グラミー賞を受賞したショスタコーヴィッチ「プレリュードとフーガ」や、バッハ「平均律クラヴィーア曲集」、ラフマニノフのピアノ作品集全集、ヴォフカ・アシュケナージとのデュオ作品集などに見られる様に、多彩で広範囲にわたる作品の録音に、献身的に取り組んでいる。

ヴォフカ・アシュケナージ Vovka Ashkenazy



©Susanne Holm

モスクワ生まれ、アイスランドと英国に育ったヴォフカは、幼少よりピアノをはじめ、やがてロイヤル・ノーザン・カレッジにてスラミータ・アロノフスキーらに師事。1983年にバービカンセンターにて、リチャード・ヒコックス率いるロンドン交響楽団とチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番を共演しロンドンデビューを飾って以来、多岐に渡る活動を繰り広げている。近年では、セミヨン・ビシュコフ、マルティン・フィッシャー=ディースカウ、スタニスラフ・スクロヴァチェフスキらと、ハリウッド・ボウル、シドニー・オペラハウス、ベルリン・フィルハーモニーなどにて共演。室内楽奏者として、ヴァシリス・ツァプロプロス、レイキャビク木管五重奏団、ディミトリ・アシュケナージらと共演、録音も行っている。ウラディーミル・アシュケナージとのピアノ・デュオとしてデッカより2009年にリリースされたフレンチ・デュオ作品集は、各方面から高い評価を得ている。コンサート活動の傍ら、オーストラリア、デンマーク、イギリス、ギリシャ、グアテマラ、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン、米国などでマスタークラスを開催するなど、教育活動にも力を注いでいる。

豊中市立文化芸術センター

プレスリリース

公演詳細

ウラディーミル&ヴォフカ アシュケナージ ピアノ・デュオ

日時 | 2019年5月19日(日) 15:00開演(14:15開場)

出演 | ウラディーミル・アシュケナージ、ヴォフカ・アシュケナージ

料金 | S席 一般 ¥8,500 club CaT 会員 ¥8,000 学生 ¥5,000

A席 一般 ¥7,500 club CaT 会員 ¥7,000 学生 ¥4,000

※障害者割引あり。※未就学児入場不可

曲目 | シューベルト：幻想曲 D.940

ブラームス：ワルツ集 作品 39

ラヴェル：ラ・ヴァルス

ラフマニノフ：組曲 第1番「幻想的絵画」 他

【本リリースに関するお問合せ先】

豊中市立文化芸術センター（豊中市市民ホール指定管理者）担当：井上

電話：06-6864-3901（代表 | 9:00～20:00 | 月曜休館） FAX：06-6863-0191

E-mail：info-bungei@toyonaka-hall.jp